

～アイデアをカタチに モノづくりデザイン～

府中天満屋2階をリノベーションで賑わいづくり

府中天満屋2階の西側一部を市が無償で寄附を受け、賑わいの拠点となるリノベーションを行っています。

“選ばれる府中市”となっていくには、市内外からさまざまな人や投資を呼び込む必要があります。そのために顔となる府中駅周辺の賑わいの再生は重要な課題です。しかし、現状は、まちなか全体、駅周辺部において、日中も夜も人通りが少なく、回遊滞留が少ない状況です。第5次府中市総合計画、ランドデザインなどの中にも記載してあり、これからのまちの発展を考えた時、「行ってみたい」「楽しい」と思い、いわばそれ自体が目的地となる拠点が、まちなかや駅周辺部に必要であると考えています。

玄関口になる府中天満屋2階から賑わいを市内全域に

「若者」「女性」「子育て層」をメインターゲットにしつつも、幅広い世代が目的地とし、常に人が集まることで、人が人を呼び、新たなビジネスや連携を生み出します。また、産業分野が集う「ものづくりのまち」の立地特性によるワークショップやコワーキングスペース、好奇心をくすぐるブックカフェやワークショップなど、導入する機能は、府中市らしさ、府中市ならではのここにしかないものや、これまで府中市になかった新しい発想も検討しています。

令和3年7月に1期。皆さんと使いながら育てていく2期整備へ！

◎1期に整備する予定の設備

- ▶子育てステーション（府中版ネウボラ）…子育てイベントや子育て相談、母子手帳の交付など、休日でも利用できる窓口を設置します。保健師、保育士、専門相談員を設置し、商業施設内の利点を活かした家族で気軽に立ち寄れる場所とします。
- ▶自分時間を演出する都市公園をイメージした屋内広場…センターに木漏れ日をイメージしたシンボリックなツリーを設置し、多くの世代がくつろいだり、天候や気温に左右されることなく、安心して集まれる場、そして、チャレンジショップやイベント、交流などが生まれる場となります。都市公園をイメージした屋内広場は、全国でも珍しく、まさに、目的地として多くの人が集う場がまちなかに出現します。
- ▶県内初のキャリア5G+W i - F i整備…商業施設内の屋内空間では初の市が整備するエリアを網羅した5G環境により、世界とつながり、映像やコンサートなどデジタルコンテンツが体験できます。

第1回天満屋活用検討委員会を開催しました（10月30日）

主な意見

- ▶消費構造が物を買うことから、サービスを買うことへの変化へ。さらに、時間を有意義に消費することも重要視すること。
- ▶天満屋だけを点で捉えるのではなく、市全体を面とした考えが必要では。
- ▶地産地消で地元のものを使ったカフェ・レストランを置いてはどうか。
- ▶子育て中のママさんの自己実現の場になり、ここに来れば、知り、学び、意識が開拓され、ステップアップできる場に。
- ▶子どもを温かく見守れる場で、安心して遊ばせることができる環境に。
- ▶利用される市民の皆さんへの情報発信が重要。オープン前から関心を持ってもらえるように。



くつろぎ空間
センターに、シンボリックツリーを設置し、屋内にしながら自然の中でくつろいでいる雰囲気演出し、天候の影響も受けないので、それぞれの世代の活動時間には、常に人で賑わっている場所となります。来客を見込んだチャレンジショップの開店も可能になります。

現時点での検討案であり、今後毎月の広報紙で、活用の進捗をお伝えしていきます。

問い合わせ先 商工労働課 (☎43-7190)